

静岡の科学教育にかかわる先生方に、静岡科学館る・く・るの素晴らしさを届けたい!

Teacher's News

2008.9.21 (国際平和デー)
No. 3

静岡科学館る・く・る
TEL 054-284-0900
FAX 054-284-0988
E-mail rukuru@earth.ion.no.jp

静岡科学館る・く・る 来館者120万人達成!!

9月21日(日)

オープン以来4年と6ヶ月で、120万人の来館者を迎えることができました。

今年の4月にNHK教育「サイエンスZERO」で全国に紹介されたように、今や静岡科学館る・く・るは地方科学館の中でも最新のハンズオン科学館として、専門家の間でも知られる存在となりました。

子ども達のリピーター率も極めて高く、静岡の子ども達に愛されています。



今年の夏休み(8月)も49,000人を超える来館者があり、月間入館者数としてはこの静岡科学館がオープンして以来最高の人数を記録しました。

市内の先生方も出展していただいた「サイエンスフェスティバルinる・く・る2008~第12回青少年のための科学の祭典静岡大会~」も、4日間で17,000人を超える参加体験者がありました。ファミリーで参加される方が多いことも最近の特徴です。

来年は先生方もグループをつくって、出展してみませんか。先生と共に小学生も参加してくれた学校があります。学校で何回も練習して、公民館フェアへの出展で力をつけて、科学館にやってきました。

社会力を育てる小・中学生の体験の場の広がりを感じます。



ビッグサイエンスショー開催

~サイエンスショーの達人が静岡にやってくる~

今回のテーマ「ピンクパンサーのブランコ大車輪」・「しゃぼん玉七変化」

9月27日(土)、28日(日) 9階イベントホール



9月27日(土)は、てこや輪軸の発展型として、ブランコが登場します。

9月28日(日)は、シャボン玉の多様なサイエンスを展開します。午前の部(11時~)、午後の部(14時~)があり、予約は必要ありません。講師の飛田賀光(とびた よしみつ)氏は、日立シビックセンター(日立市)に勤務されていた職歴をお持ちのトーク大好きなサイエンスインタープリターです。

理科授業のダイナミックな展開を模索している先生は、是非見に来てください。参考になると思います。

「子ども科学新聞」展示会

10月18日(土)~26日(日) 9階企画展示室

静岡聞社がCSR活動として展開している「子ども科学特捜隊」が、この10月で2周年を迎えます。その記念展を開催します。

学校から好評いただいている「子ども科学新聞」の展示と、バックナンバーも配布します。また新聞記者体験をして、号外新聞を作るキッズニア体験も行います。

わくわく科学工作開催

10月5日(日) 8階ワークショップスペース

10月5日のわくわく科学工作では、「レンズ&ピンホール!箱カメラを作ろう!」というテーマで、工作を行います。またカメラの原型であるカメラ・オブスキュラを復元して展示します。

光の学習のヒントに活用ください。

体験を通して学ぶ理科学習の1つの素材として箱カメラを作ることから入っていく授業展開はいかがでしょうか。

